

大躍進！陸上競技部 ～新人戦 始まる～

新人大会の会期が始まり、9月11日（金）～13日（日）の3日間、北上市で第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会が開催されました。大会では本校陸上部が躍動。特にトラックを席捲。全員が東北新人大会に進出するという大躍進でした。東北新人大会への出場権を獲得した4位以上の結果と大会を振り返っての感想を掲載します。

男子				女子			
順位	種目	氏名	記録	順位	種目	氏名	記録
1	100M	鷹羽 柊弥	10"97	1	100M	筑後 なごみ	12"38
1	200M	鷹羽 柊弥	21"89	4	100M	田中 馨子	12"68
1	800M	佐々木 陸	1'55"62	1	200M	筑後 なごみ	25"44
1	1500M	佐々木 陸	4'00"22	4	1500M	水川 陽香留	4'50"97
1	110MH	似内 陸斗	14"85	3	3000M	水川 陽香留	10'08"13
3	110MH	佐倉 瑠之輔	15"75	1	100MH	田中 馨子	14"97
2	円盤投	新坂 恒輝	32m59	4	走幅跳	佐藤 優空	5m03
1	400MR	片方 胡太 鷹羽 柊弥 佐倉 瑠之輔 似内 陸斗	42"75	2	400MR	佐藤 優空 筑後 なごみ 黒川 滯 田中 馨子	49"67
2	1600MR	似内 陸斗 佐々木 陸 佐藤一平 鷹羽 柊弥	3'23"98				
男子総合 第2位 50点				女子総合 第4位 36点			
男子トラックの部 第1位 45点				女子トラックの部 第3位 33点			

2年3組 田中馨子さん

100M ハードルでは、自己ベストは出せませんでしたが、優勝できたことが自信になりました。東北新人大会では、課題のスタートを改善して、自己ベストはもちろん、上位入賞を狙います。新型コロナウイルスの影響を受けている状況で、大会が開催されることに感謝して走りたいです。

2年6組 佐々木陸さん

800Mと1500Mで東北新人大会に出場します。昨年の東北新人大会では、1500Mの予選

で落ちてしまい、悔しい思いをしました。今年が入賞、もしくは表彰台に登りたいです。来年のインターハイ出場を見据え、東北大会というレベルの高い大会で、自己ベストを伸ばしたいと思います。

1年2組 筑後なごみさん

今年が大会が少なかったため、県新人大会では不安と緊張で心が押しつぶされそうでしたが、たくさんの方からの応援やみんなの活躍から力をもらい、目標としていた100Mと200Mの二冠、更に400Mリレーでも東北新人出場を決めることができました。嬉しい気持ちでいっぱいです。東北大会では、苦手なスタートを改善し、自己ベストを更新して上位入賞できるよう、全力で楽しみながら悔いのない走りをしてきます。

2年6組 鷹羽柊弥さん

100M,200M,400MR,1600MRに出場しました。3日間で8レースを全力で挑むのは肉体的にきつかったですが、仲間からの声援や観客のざわめきがモチベーションとなり、3つの種目で優勝することができました。今回の200Mでは、歴代の四高記録を塗り替えることができました。東北新人大会もハードスケジュールですが、200Mと400MRでは優勝を目指して走り抜きます。

2年4組 似内陸斗さん

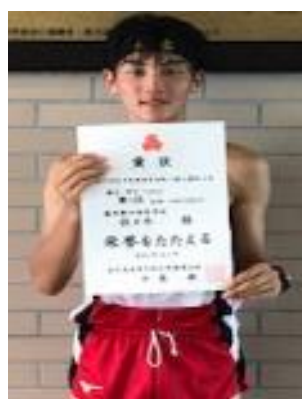
100MH,400MR,1600MRに出場し、良い結果を残すことができました。今後もっとタイムを上げて、大きな大会で活躍できるようになりたいです。周りに強い選手がいる素晴らしい環境、指導していただいている先生方、食事などで支えてくれる親に感謝し、もっと速くなれるよう努力します。

主将 2年5組 佐倉瑠之輔さん

今季最も重要な大会が、この県新人大会でした。コロナウイルスの影響で多くの大会が中止になり、十分なレース経験を積むことができませんでした。その中でチームとしてこのような素晴らしい成績を残すことができたのは、昨シーズンから私たちを育ててくれた先輩方、顧問やコーチの先生方のおかげであると感じています。また、高いレベルの仲間たちと切磋琢磨して練習できているのも、恵まれている点の一つだと思います。10月初旬に北上市で開催される東北新人大会では、来年のインターハイを見据え、自分たちの今いる位置を確認し、自己ベストを更新することを目指して、精一杯試合に挑んでいきます。



400MR 優勝メンバー



中距離二冠佐々木さん



短距離二冠の筑後さん、鷹羽さん

これから新人大会が順次開催されます。各部の健闘を祈ります！